

第70期決算説明資料

(2022/4/1～2023/3/31)



タカノ株式会社

2023年6月7日

**2023年3月期実績および
2024年3月期見込みについて**

2023年3月期決算（連結） 実績の内容について

（ご注意）

- 2023年3月期より連結子会社となった(株)ユーキ・トレーディングは、2023年3月31日を取得日としているため、貸借対照表のみを連結しております。
- 当該企業結合において生じたのれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため暫定的な金額です。取得原価の配分の結果によって、のれん金額が変更になる可能性があります。

●当社および連結子会社の概要について

会社名	沿革等	事業の内容
※当社 タカノ株式会社	1953年7月 ばね製造会社として設立 1997年東証上場	・ オフィス家具、ユニット（ばね）製品、エクステリア製品、 画像処理検査装置、電磁アクチュエータ、健康福祉関連機器 の製造販売
※連結子会社 (株)ニッコー [機械・工具]	1968年3月 グループ内の工具機械等の仕入を する商社機能として設立	・ 工具、器具、機械、エクステリア製品の仕入販売
※連結子会社 タカノ機械(株) [検査計測機器]	1979年9月 当社治工具・専用機の設計製造 部門を分離独立させ設立。	・ 省力化機械の製造販売 ・ 検査計測装置のメカ機械等の製作
※連結子会社 台湾鷹野股份有限公司 [検査計測機器]	2005年2月 当社100%子会社として設立、 同年4月より営業を開始	・ 台湾におけるFPD向け画像処理検査装置のメンテナンス、ア フターサービス、販売活動
※連結子会社 上海鷹野商貿有限公司 [住生活関連機器]	2010年1月 当社100%子会社として設立 2013年12月 資本金を50万米ドルに増資	・ オフィス家具他、各種製品の仕入販売 (当社各部門の中国市場向けの製品の販売活動等、中国から の部材仕入れ活動等を行う目的で設立)
※連結子会社 香港鷹野国際有限公司 [産業機器]	2011年8月 当社100%子会社として設立(登記) 2012年4月(営業本格開始)	・ 産業機器(電磁アクチュエータ)製品、検査計測機器製品お よびそれぞれの製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)
※連結子会社 Takano of America Inc. [産業機器]	2019年8月 当社100%子会社として設立(登記) 2020年4月(営業本格開始)	・ 産業機器(電磁アクチュエータ)製品の仕入・販売
※連結子会社 (株)ユーキ・トレーディング [住生活関連機器]	1989年6月設立 2023年3月 株式を100%取得し連結子会社化	・ 福祉用具・健康用品の輸出入および国内販売

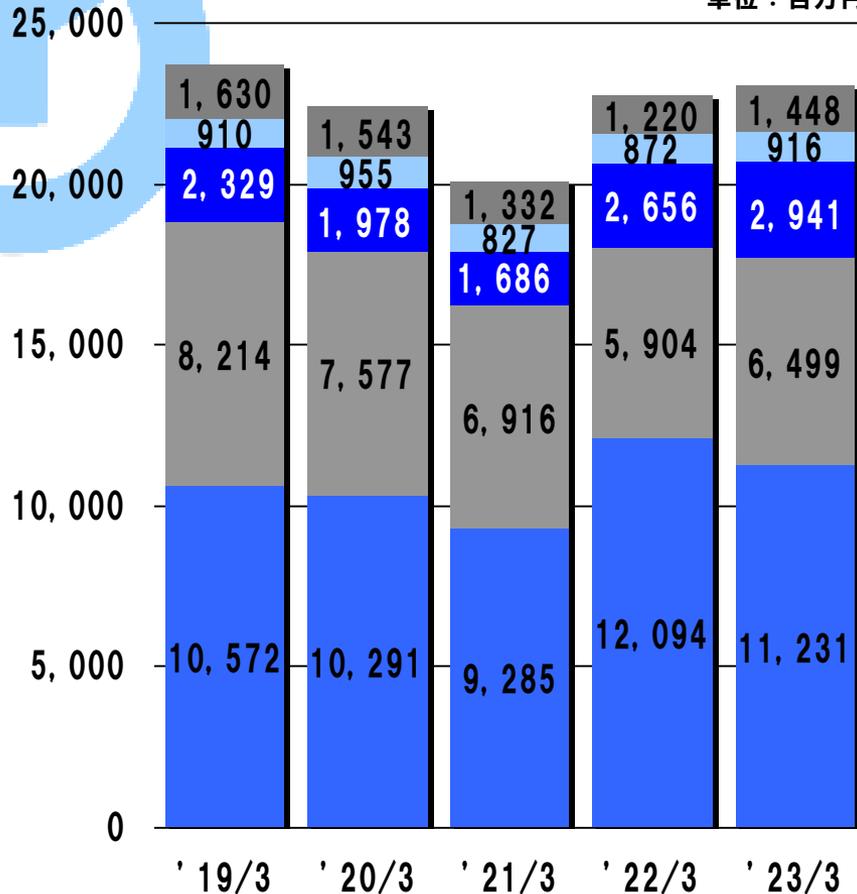
●2023年3月期連結決算実績 (対前期比)

	2022年3月 (百万円)	2023年3月 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	22,748	23,037	101.3%
営業利益	1,143	999	87.4%
経常利益	1,237	1,103	89.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	894	828	92.7%

●セグメント別売上高の推移

セグメント別売上高の推移

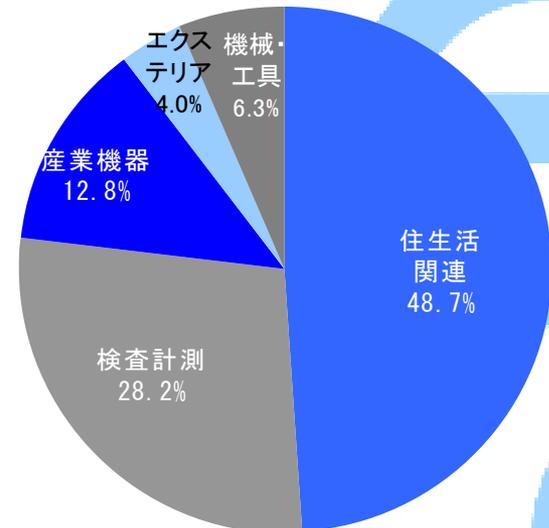
単位：百万円



■住生活関連 ■検査計測 ■産業機器 ■エクステリア ■機械・工具

	2022/3 (百万円)	2023/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	12,094	11,231	92.9%
検査計測	5,904	6,499	110.1%
産業機器	2,656	2,941	110.7%
エクステリア	872	916	105.1%
機械・工具	1,220	1,448	118.7%
合計	22,748	23,037	101.3%

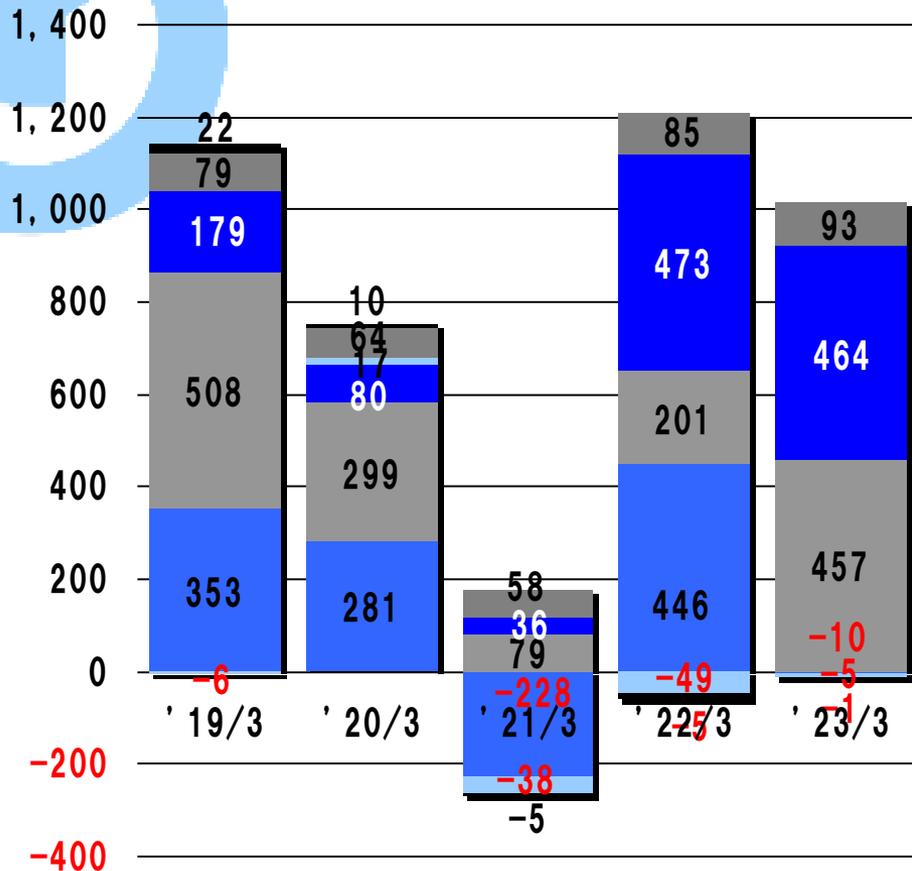
2023/3連結売上高構成比



●セグメント利益の推移

セグメント利益の推移

単位：百万円



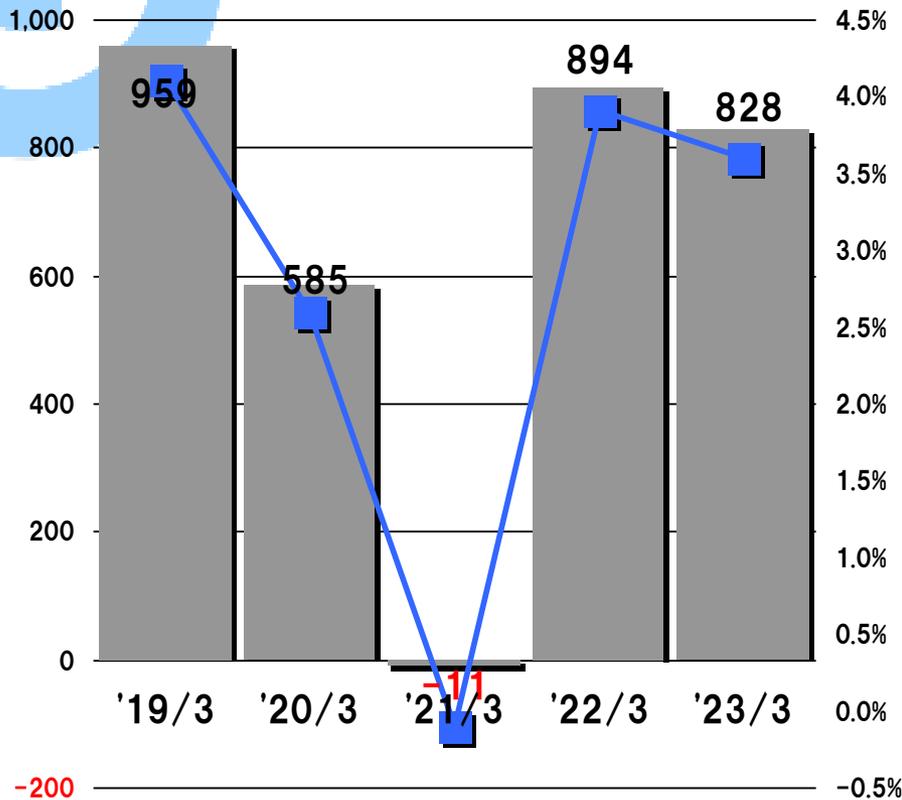
■ 住生活関連 ■ 検査計測 ■ 産業機器 ■ エクステリア ■ 機械・工具 ■ 取引消去

	2022/3 (百万円)	2023/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	446	△5	—%
検査計測	201	457	227.3%
産業機器	473	464	98.2%
エクステリア	△49	△10	—%
機械・工具	85	93	109.7%
取引消去	△13	△1	—%
合計	1,143	999	87.4%

● 親会社株主に帰属する当期純利益の推移 (連結)

親会社株主に帰属する当期純利益/率

単位:百万円



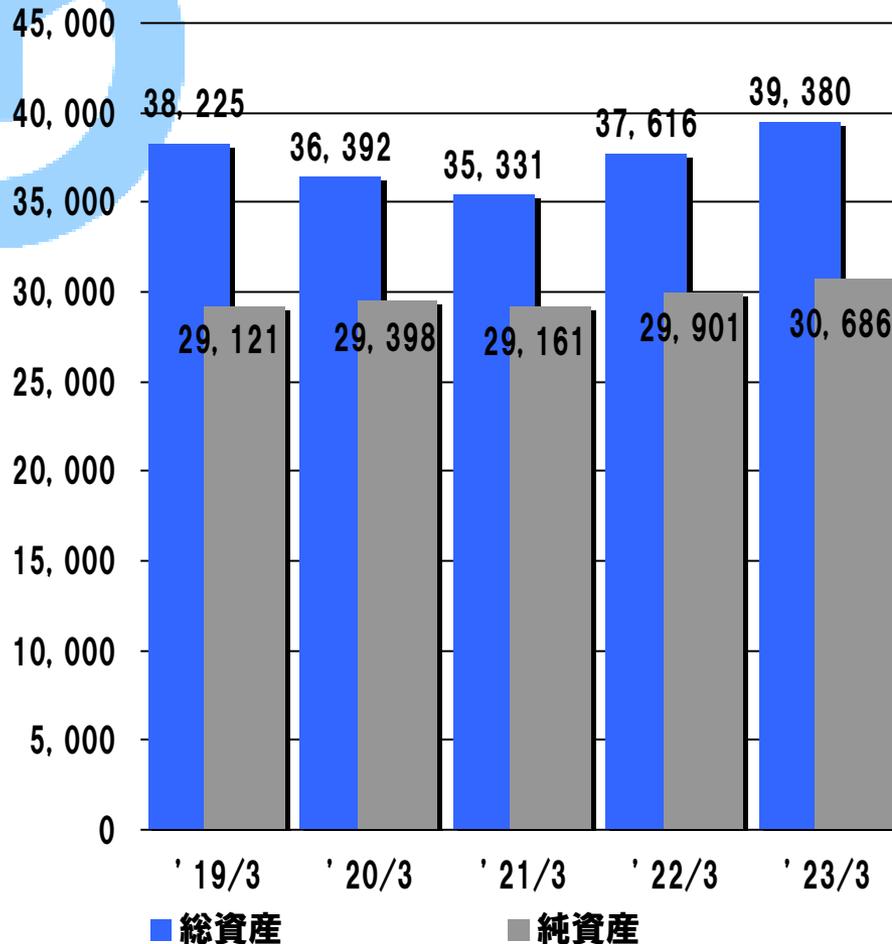
○ 2023年3月期の1株当たり純利益
54円46銭

■ 親会社株主に帰属する当期純利益
■ 親会社株主に帰属する当期純利益率

●総資産・純資産の推移(連結)

総資産/純資産

単位：百万円



○2023年3月期の自己資本比率 77.9%

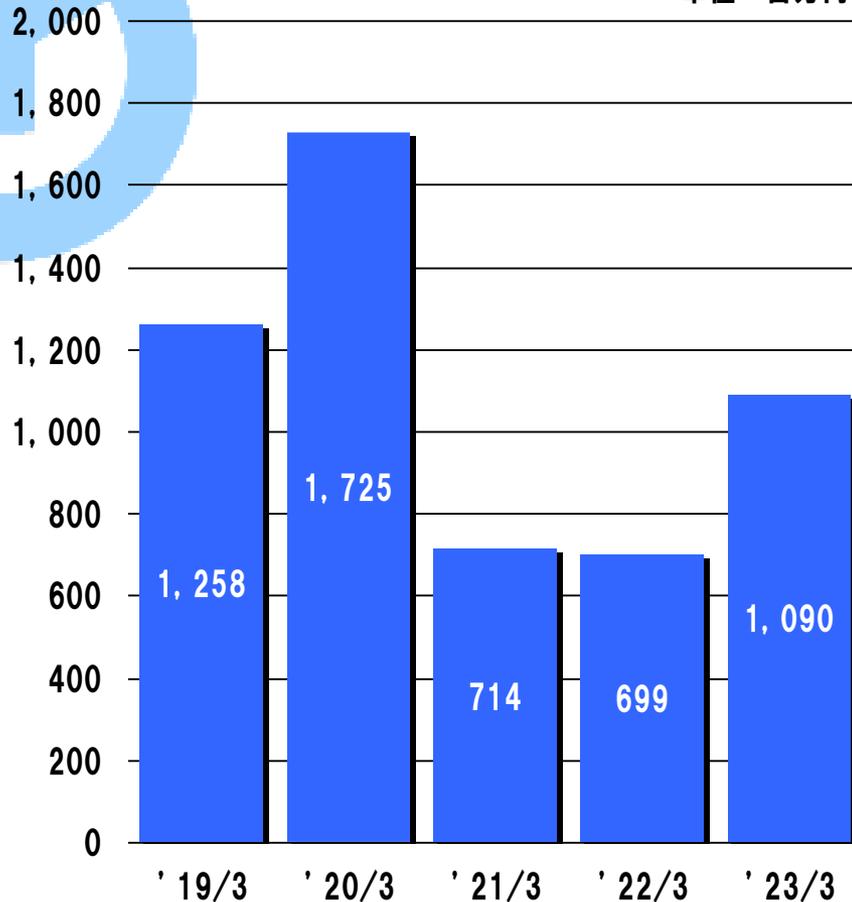
○2023年3月期の自己資本利益率 2.7%

○2023年3月期末の1株当たり純資産
2,016円00銭

● 主な設備投資内容・設備投資額推移

設備投資額推移

単位：百万円



	2022/3 (百万円)	2023/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	306	551	180.1%
検査計測	156	323	206.8%
産業機器	171	209	122.3%
エクステリア	74	3	4.9%
機械・工具	1	6	433.3%
調整額	△10	△4	—%
合計	699	1,090	155.9%

● 当期の主な設備投資の内容

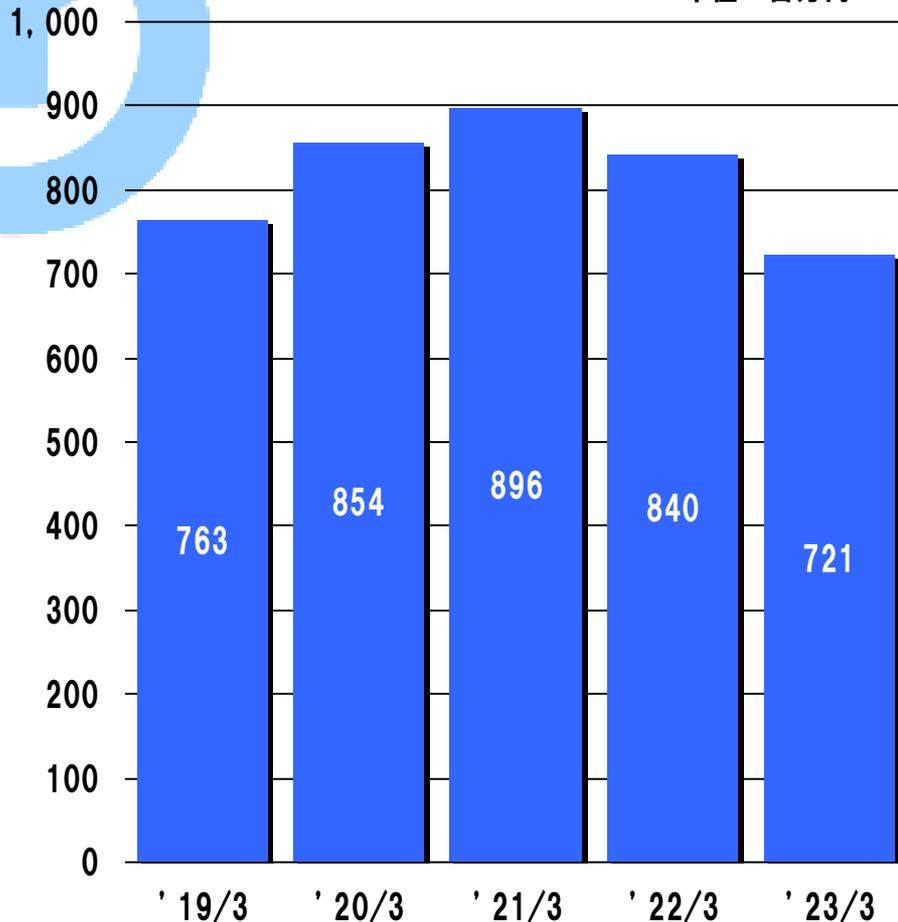
- 住生活関連機器
 - ・ のれん (株)ユーキ・トレーディング)
- 検査計測機器
 - ・ 塗布装置
- 産業機器
 - ・ 旋盤等の機械装置

※設備投資額は有形+無形固定資産の設備投資に係るものです。

● 主な研究開発内容・研究開発費推移

研究開発費推移

単位：百万円



● 当期のセグメント別研究開発費の内訳

単位：百万円

住生活関連	89
検査計測	630
産業機器	1
エクステリア	0
合計	721

● 当期の主な研究開発の内容

■ 住生活関連機器

- ・ 環境対応 新素材研究等
- ・ 金属3Dプリンターを活用した開発試作

■ 検査計測機器

- ・ 高速・高分解能新型カメラおよび画像処理装置開発
- ・ AIによる欠陥分類研究

■ 新事業開発関係

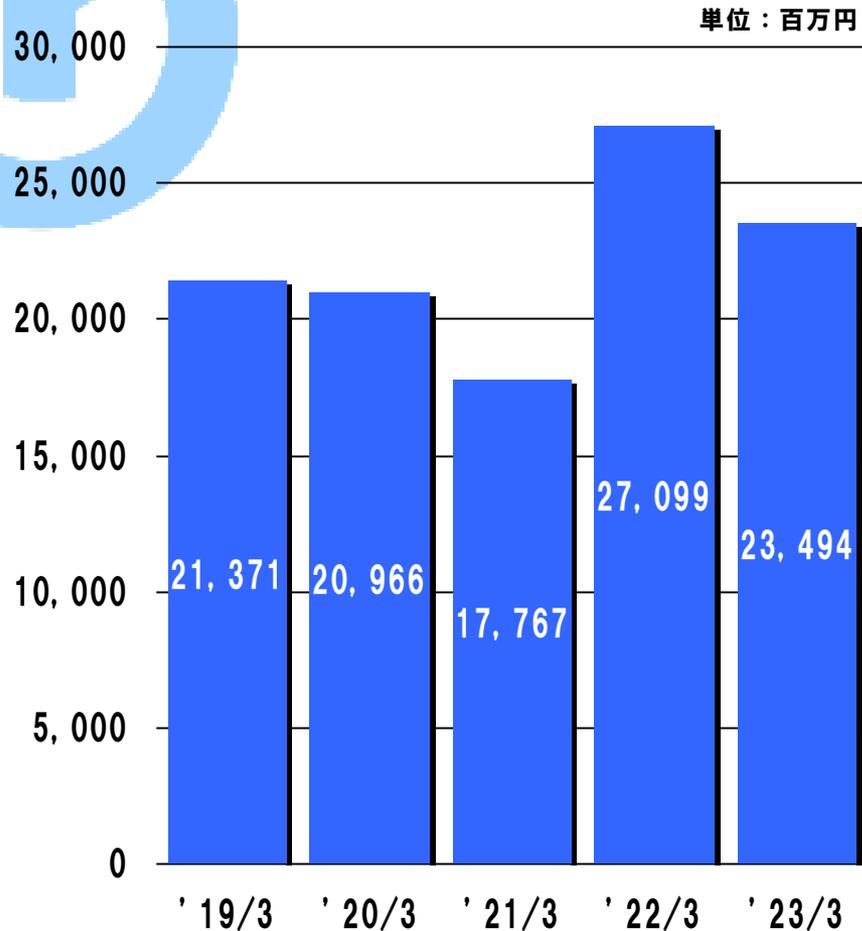
- ・ 体外診断用医薬品および診断装置開発
- ・ マイクロデバイス開発

●2023年3月期連結キャッシュフロー計算書

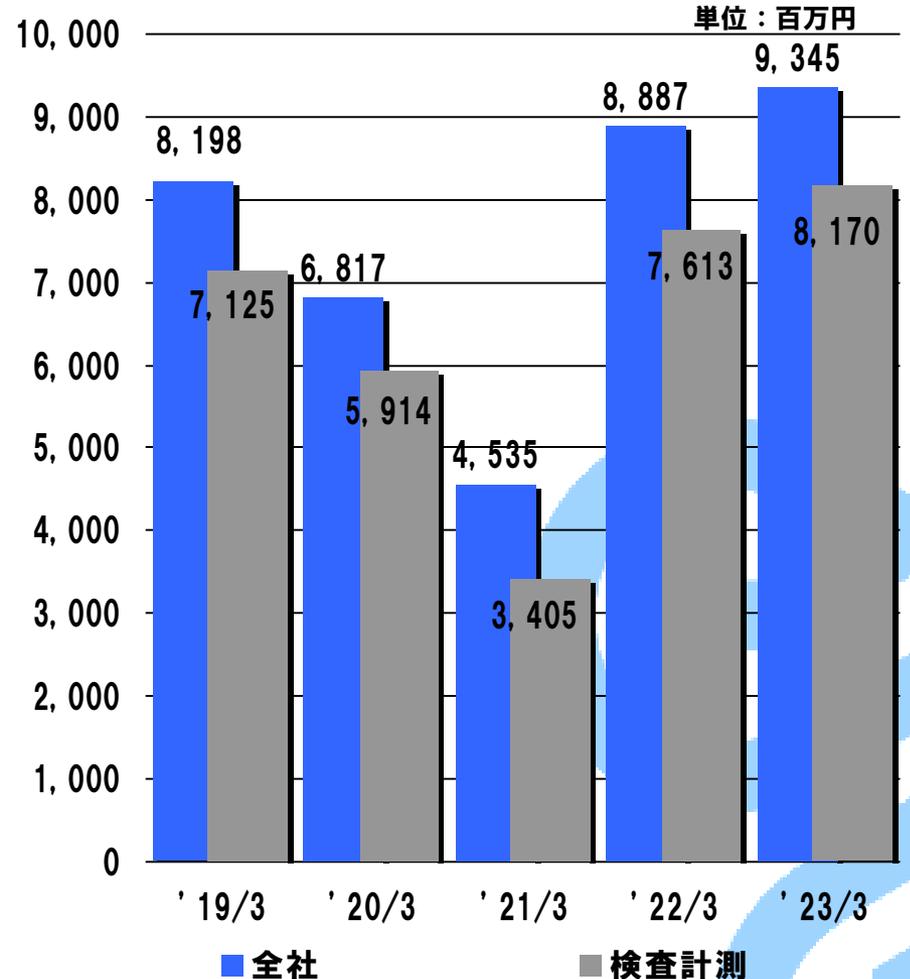
	2022年3月 (百万円)	2023年3月 (百万円)	前年比増減 (百万円)	備考
営業活動によるCF	670	733	62	
投資活動によるCF	△896	△400	496	
財務活動によるCF	△133	△223	△89	
現金等換算差額	84	58	△25	
現金等の増減額	△275	167	442	
現金等期首残高	7,749	7,474	△275	
現金等期末残高	7,474	7,641	167	

●受注高・受注残高の状況

受注高の推移



期末受注残高推移

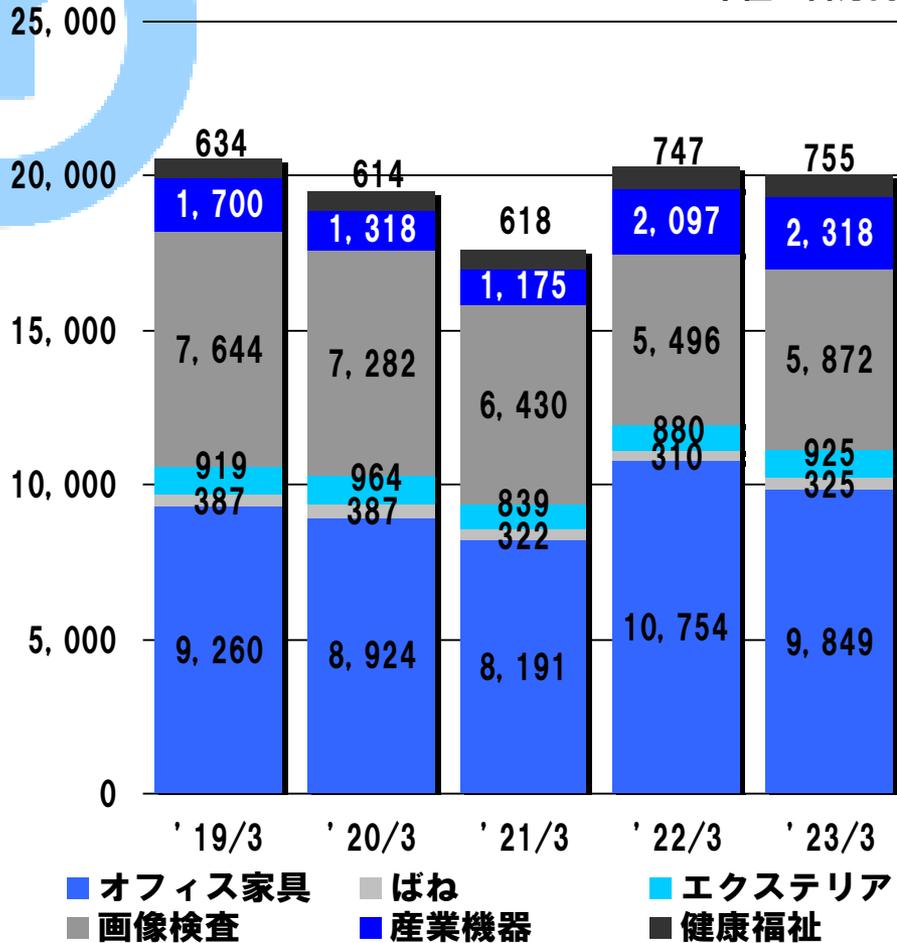


**2023年3月期決算（単独）
部門別売上高実績の内容について**

●部門別売上高（単独）の推移

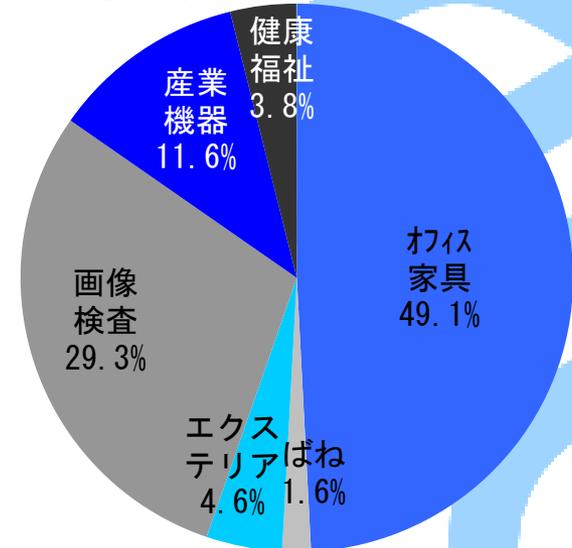
部門別売上高推移

単位：百万円



	2022/3 (百万円)	2023/3 (百万円)	前年 同期比
オフィス家具	10,754	9,849	91.6%
ばね	310	325	104.7%
エクステリア	880	925	105.1%
画像検査	5,496	5,872	106.8%
産業機器	2,097	2,318	110.5%
健康福祉	747	755	101.1%
合計	20,288	20,047	98.8%

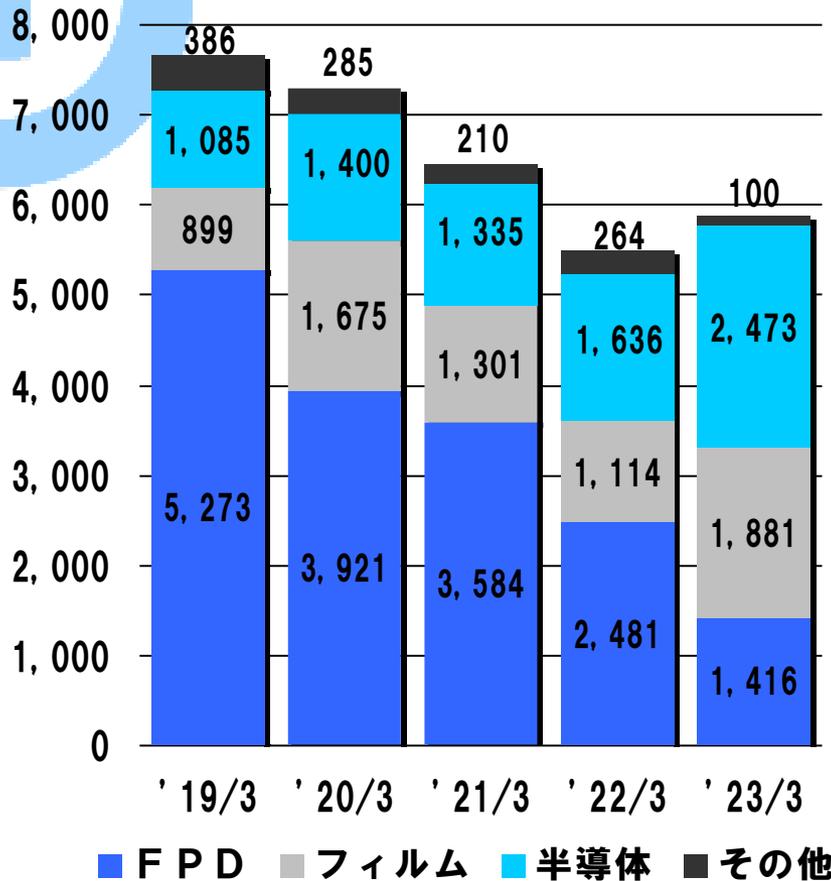
2023/3売上構成比



●検査計測装置売上高の推移

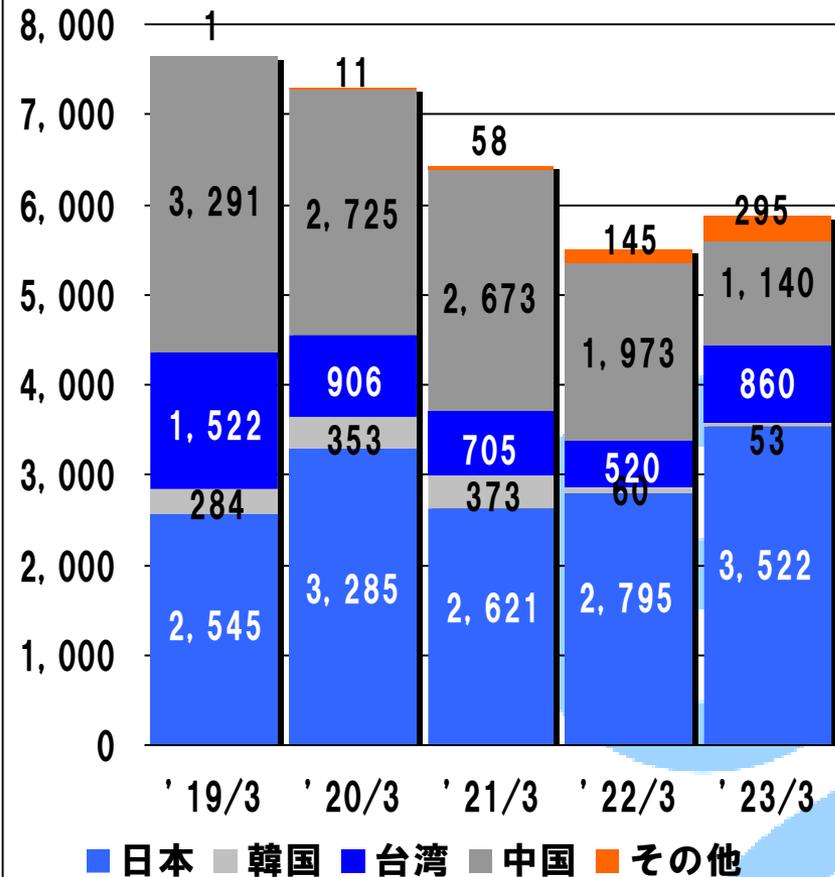
検査計測装置品目別売上高推移

単位：百万円



検査計測装置地域別売上高推移

単位：百万円



2024年3月期決算（連結）の見通しについて

●2024年3月期決算（連結）見通し

	2024年3月予想 (百万円)	前年同期比 (%)	2023年3月実績 (百万円)
売上高	25,900	112.4	23,037
営業利益	1,250	125.1	999
経常利益	1,400	126.9	1,103
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,000	120.6	828

《地域貢献活動①》

エクステリア工場に併設しております『ルビーの里～エクステリアガーデン』が、第41回工場緑化推進全国大会にて経済産業大臣賞を受賞しました。

当社製品の屋外展示と兼ねているルビーの里～エクステリアガーデンの整備などを通して、駒ヶ根市の自然豊かな山里の環境整備を進めております。



第41回工場緑化推進全国大会 令和4年度

タカノ株式会社
エクステリア工場

全国みどりの工場大賞
National Prize for Green Factory

経済産業大臣表彰

緑化概要

タカノ株式会社エクステリア工場は、敷地の一部である「ルビーの里」を1年中一般開放している。象徴である「赤ソバ」（高嶺ルビー）をはじめ、四季折々の花々・冬にはイルミネーション装飾、山林公園では山菜・しいたけ・ミツバチ・ハンモック等自然を満喫してもらうための憩いの場所を提供している。芝生広場（展示場兼ねる）では、子供達が遊べる環境を整備している。いずれも社員で環境維持の知識を得ながらそれぞれの作業を行い、地域共生と持続可能な環境づくりに取り組んでいる。

日本緑化センター



宮田小学校



タカノ(株)

×

モノづくり「ミライ創造プロジェクト」

工場内のエンドマテリアル(端材)を使い、小学校でモノづくり授業を実現しました。
「モノをつくる楽しさ」「モノをつかう便利さ」「モノをおくる温かさ」
モノを通じて、心が動いてミライがちょっと変わる、授業を通してそんな体験をしてもらい、SDGsへの学びを深めてもらいました。
タカノは子供たちのミライにモノづくりを伝えていきます。



2023年3月期 期末(单独) 検査計測部門 決算報告

取締役部門長 鷹野 雅央

夕力株式会社

検査計測部門

2023年6月7日(水)

本資料は、検査計測部門の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであります。

本資料で開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

財務数値は、管理会計における部門単独での数値であり、連結会計とは異なるものであります。

1. 部門紹介
2. 決算報告
3. 重点製品

- 1. 部門紹介**
2. 決算報告
3. 重点製品

検査計測部門 (検査装置事業)

- ・ 1987年、画像処理装置第1号機を完成
- ・ 事業人員 約250名 (派遣等含む, 国内拠点計)
- ・ 信州南平工場(FPD等)、函館事業所(Film)
その他 営業拠点等(国内外: 全9拠点)



100%自然エネルギー

信州の豊かな水源から生まれた地球に配慮した電気を使用



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



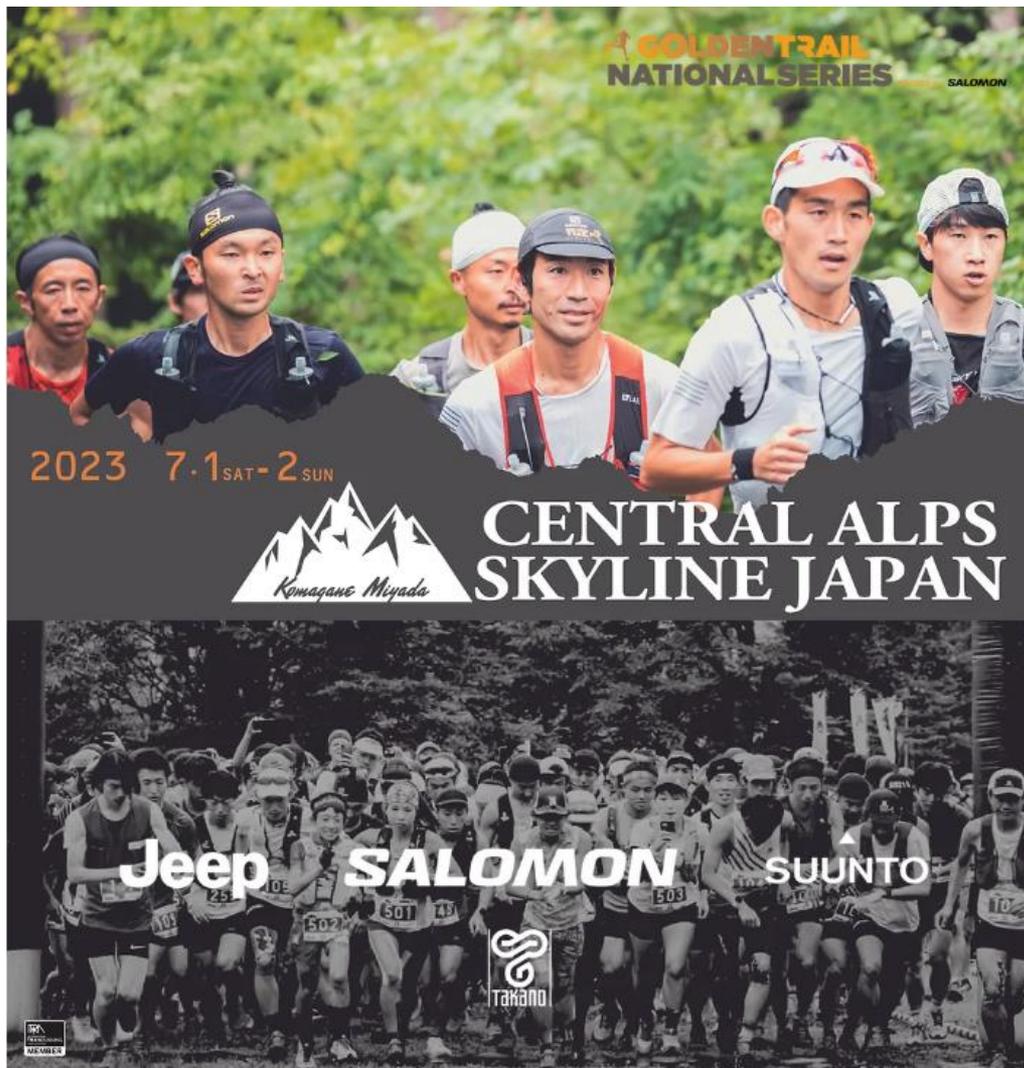
13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



中央アルプス スカイラインジャパン2023へ協賛



- **大会名称**
中央アルプス スカイラインジャパン2023
(CENTRAL ALPS SKYLINE JAPAN 2023)
- **開催日**
2023年7月2日(日)
- **開催場所**
長野県駒ヶ根市/宮田村

地域活性化の支援により、当社の認知度の向上・イメージアップといった効果を期待し、人材戦略、販売へつなげていく

今後も積極的に地域とのコミュニケーションを図る



半導体・電子デバイス事業 (以下「半導体事業」という)

ウエーハの異物や欠陥を高速、高精度に検出できる半導体検査装置

Vi — ウエーハの配線パターンやクラック、異物混入などの製品外観を高速、高精度に検査

WM — ベアウエーハ表面のパーティクルを高感度に検出

ALTAX — ウエーハやBGAなどのパッケージ基板上に形成されたバンプの高さ、径、コプラナティを高速かつ高精度に測定

CIS



ウエーハ

WMシリーズ



Viシリーズ



ALTAX



※本資料における「半導体事業」は半導体と電子デバイスの合計を意味する。

フィルム事業

ラインセンサーを用いた光学式のフィルム検査装置

高性能カメラによる高速検査が可能 新規画像処理ユニットを搭載し、高速画像転送とAI欠陥分類により、生産ラインの品質向上を実現する

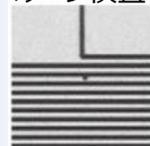
パターン検査



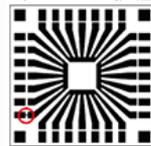
Hawk eyes



パターン検査



パッケージ検査



参入市場：光学フィルム・電子部材・
Energy・医療用フィルム

フラット・パネル・ディスプレイ事業 (以下「FPD事業」という)

色ムラ、欠陥等を高精細に検出できる液晶検査装置

テレビやスマートフォン用の液晶パネル製造工程でパターン付き基板の自動検査・欠陥判定をし、量産の品質工程管理を行う装置



高精細外観
検査装置
(カラーフィルター
等)



ムラ検査装置



参入市場：LCD(液晶ディスプレイ)、
PDP(プラズマディスプレイ)、OLED(有機ELディスプレイ)

1. 部門紹介
- 2. 決算報告**
3. 重点製品

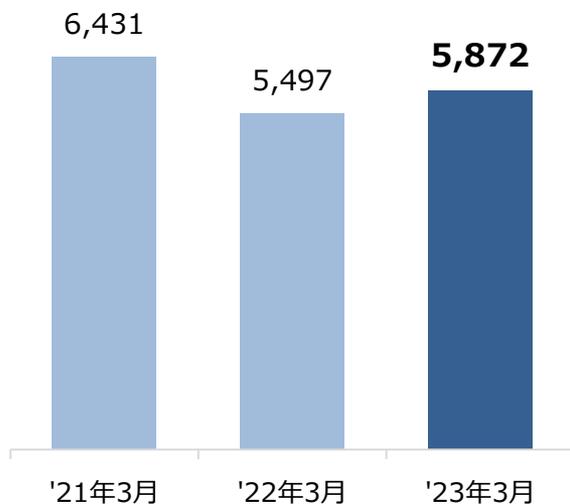
増収増益、売上高は微増も、部門利益は大幅に伸長

- 売上高は前年同期比106.8%と微増
- 部門利益は255.9%と大幅な増益となった

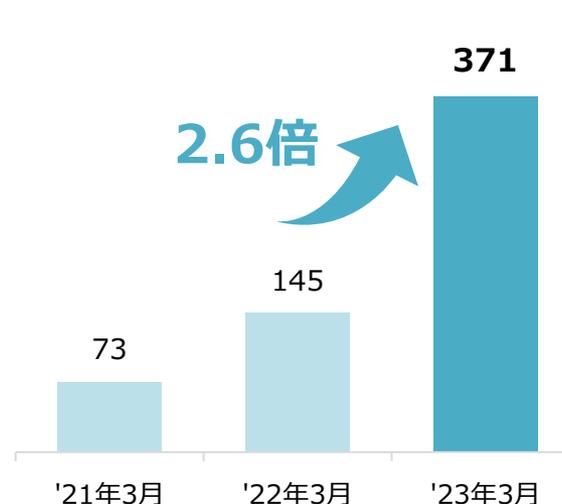
【要因】

- 収益柱の転換 : 半導体事業が売上および利益を牽引
- 生産高増加 : 生産高増加がプラスに影響

売上高 単位:百万円



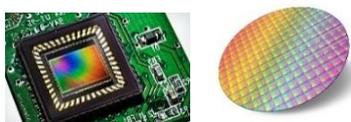
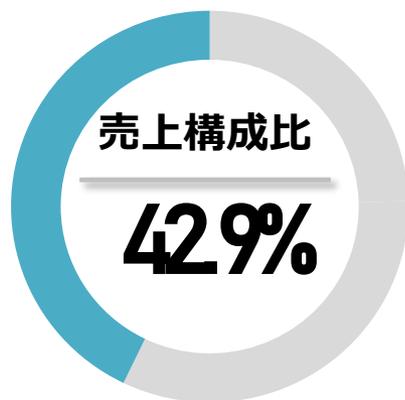
部門利益 単位:百万円



※部門利益は営業外損益を含む

半導体および 電子デバイス事業

対前年 **+11.6%**

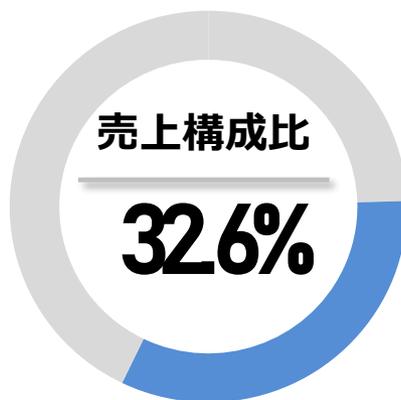


ウェーハの異物や欠陥を高速・高精度に検出できる半導体検査装置を提供

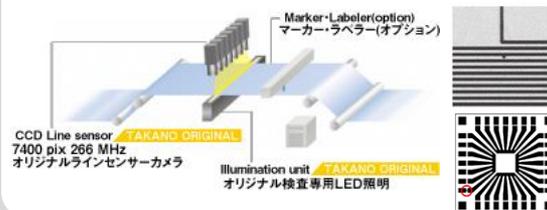


フィルム事業

対前年 **+11.3%**

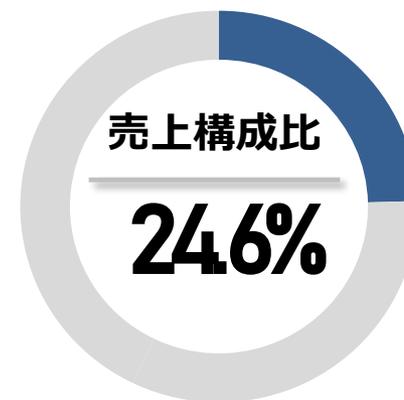


ラインセンサーを用いた光学式のフィルム検査装置を提供



フラット・パネル・ ディスプレイ事業

対前年 **▲22.9%**



色ムラ、欠陥等を高精細に検出できる液晶検査装置を提供



1. 部門紹介
2. 決算報告
- 3. 重点製品**

半導体市場 短期的には調整局面も、中長期的には成長に期待

深刻な半導体不足から一転、需要調整局面に入り半導体世界市場は一旦落ち着きがみられる。しかし、メインターゲット市場であるパワー半導体などの非先端系半導体は底堅く好調に推移すると見込まれる。

事業	マーケット状況 過去 現在	補足説明
半導体	 晴時々雲 → 晴れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 車載（EV/自動運転）の需要増が見込まれる ● 半導体市況は最先分野の回復には時間を要す見通したが、車載向け パワー半導体を中心に積極的な投資が継続しており、受注も増加傾向。
フィルム	 曇時々晴れ → 晴時々雲	<ul style="list-style-type: none"> ● 半導体の成長に牽引され、フィルムメーカーの投資が見込まれる。 ● バッテリー関連は、車載向けに 継続的な成長が見込まれ、基材メーカーからの引合いが増加傾向。
フラット・パネル・ディスプレイ	 雨 → 曇時々雨	<ul style="list-style-type: none"> ● 各社の稼働率は2022年秋に底を打ち、緩やかな回復傾向であるが、新規投資については抑制状態が継続。 ● ニューノーマルの確立による新しいテクノロジー成長もスローペースで推移（MicroLED Display パイロットライン向け検査機 2023年度に納入）

半導体・電子デバイス向け装置のラインナップ

当社商品のラインナップ	製品名	製品説明	参入市場
<p>1. WM</p>  <p>ウエーハ表面異物検査装置</p>	<p>WM-10</p>  <p>WM-7SR 海外認証対応版</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 300mmウエーハの標準モデル ● 48nmの高感度検査システム <ul style="list-style-type: none"> ● ウエーハサイズが200mm以下の最もリーズナブルな高性能モデル 	<p>CMOS image sensor, POWER device, Bare-wafer, Filmed-wafer, RF filter, BUMP, MEMS</p>
<p>2. Vi</p> <p>ウエーハ外観検査装置</p>	<p>Vi-4202R /4304C</p> 	<p>ウエーハの配線パターンやクラック、異物混入などの製品外観を高速、高精度に検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ウエーハサイズ：200mm未満対応 ● ウエーハサイズ：300mm未満対応 	
<p>3. ALTAX</p> <p>高速バンプ高さ検査装置</p>	<p>ALTAX-300EX</p> 	<p>半導体チップの微細化や2.5Dや3Dパッケージ基板対応に向けた高速・高精細のバンプ高さ検査</p>	
<p>4. ThinSpector</p> <p>全面膜厚ムラ検査装置</p>		<p>半導体製造プロセスにおいて重要な膜厚管理を行う為にウエーハ全面の膜厚計測+膜厚Muraの検出を行う</p>	<p>半導体市場 Substrate市場</p>

WMシリーズの紹介：概要

概要

ノンパターンウェーハ(ベアシリコンおよび各種成膜)のパーティクルを高感度で測定可能です。光源にViolet LD(青紫色レーザダイオード)を搭載し、パーティクル管理に最適な性能と圧倒的なコストパフォーマンスを誇る装置です。

仕様

検出感度	:	48nm@WM-10(Bare-Si)
	:	79nm@WM-7S(Bare-Si)
光源	:	Violet LD (約405nm)
走査方式	:	スパイラルスキャン

用途

ノンパターンウェーハのパーティクル測定
(Bare-Si/各種成膜)

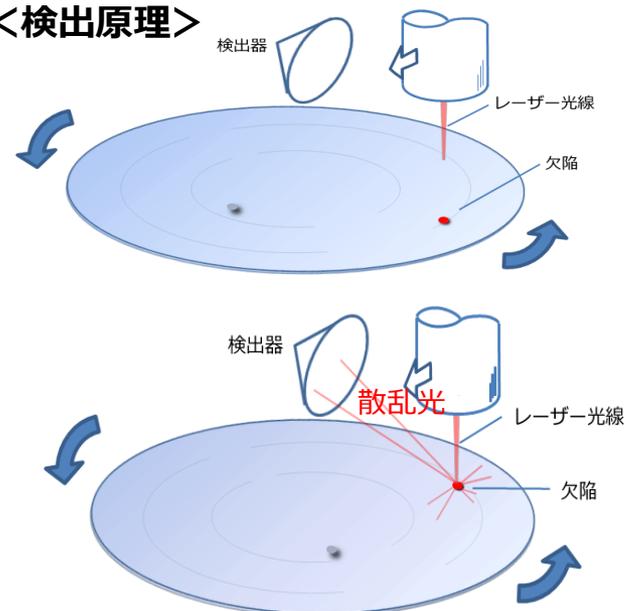


WM-7S 200mm以下



WM-10 300mm

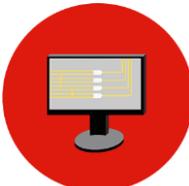
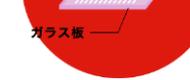
<検出原理>



鏡面ウェーハ上の異物を高速・高感度に検出

設計

フォトマスク作成



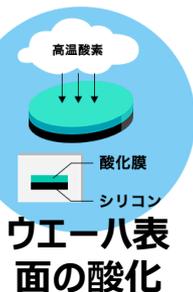
シリコンインゴット切断



ウエーハの研磨

半導体メーカー 前工程

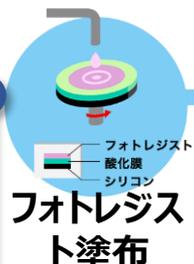
基板ウエーハ上に回路を形成し、半導体チップを作る工程



ウエーハ表面の酸化



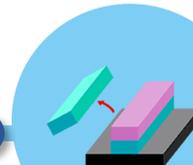
薄膜形成



フォトレジスト塗布



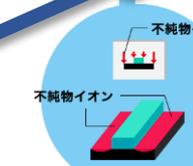
露光・現像



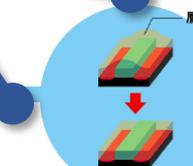
エッチング



レジスト剥離・洗浄



イオン注入



平坦化

ウエーハ表面検査装置 (WMシリーズ)

半導体プロセスの“健康管理装置”



モールドイング



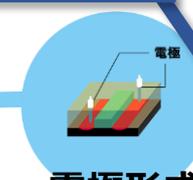
ワイヤーボンディング



ダイシング



ウエーハ検査



電極形成

半導体メーカー 後工程

半導体チップを組み立てる工程 切り分けた後、配線や樹脂封入などを行う

発売以来35年間のロングセラー商品

	1986	1987	1988	1989	1990	-	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	-	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
WM-3	第1世代																								
WM-1000																									
WM-2000							第2世代																		
WM-7									第3世代（現行機）																
WM-10																									

第1世代



第2世代

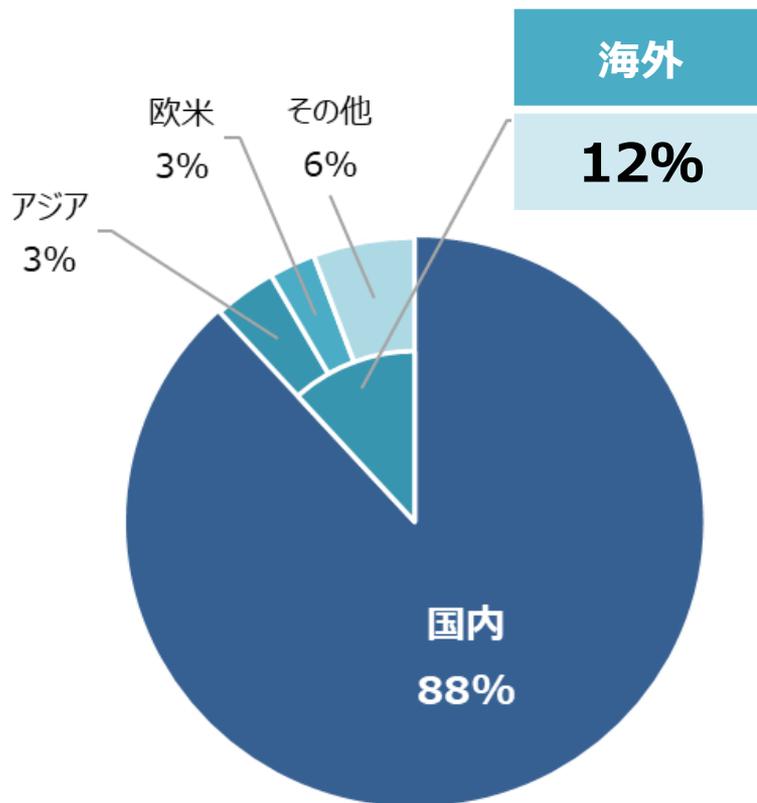


第3世代（現行機）



累計納入台数：約800台

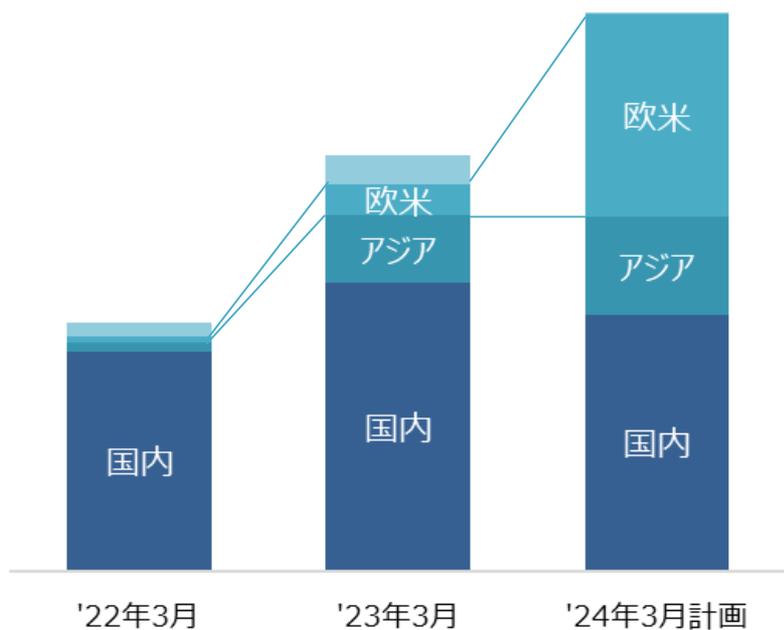
現中計のスタート時点ではWMは国内市場が大部分を占めていた
海外展開が課題であり、成長余地でもある



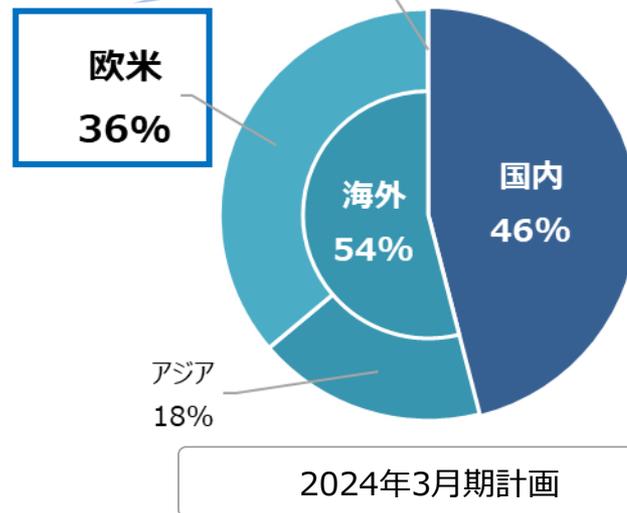
2022年3月期実績

商社連携拡大、出展展示会の増加を通じて海外市場開拓を進める
海外市場で認知度を向上し、グローバル・ブランドの確立を目指す

WM売上推移・計画



対'22年3月期
12倍



国内外の展示会で新規・潜在顧客へのアプローチを強化 商社開拓を推進し、海外市場の販路拡大を狙う



SEMICON West 2023
(米国サンフランシスコ)

欧米代理店Class Oneブースへ
WMポスターとデモ機出展予定



出展検討中

**SEMICON EUROPA
2023** (ドイツ、ミュンヘン)

欧米代理店Class Oneブースへ
WMポスターとデモ機出展を検討

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月



SEMICON SEA 2023
(マレーシア、ペナン)

商社2社にWMポスター出展

**SEMICON Taiwan
2023** (台北)

タカノ直接出展予定
WM、Vi、ALTAXなど

**SEMICON Japan
2023** (東京ビックサイト)

タカノ直接出展予定
WM、Vi、ALTAXなど



END



※この説明資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する最終決定はみなさまご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

※当説明資料で掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また2023年6月7日現在で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断に基づいております。従って、将来に関する予想には様々な潜在的リスクや不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。当社はこの資料を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。

※従いまして、この資料にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。

